

## ラフターブレーキ関係部品の分解整備推奨の件

長期使用のラフテレーンクレーンに於いて経年劣化による走行ブレーキ関係の部品の故障が報告されました。

### <不具合事例とお願い>

走行ブレーキ回路に使用されています、ブレーキブースタ内部でオイルシールとパッキンの経年劣化によりブレーキフルードが少しずつブースタのエア室に入り込み、ブレーキを軽く踏んだ状態と同じ状態となり、そのまま走行してブレーキローターに熱が発生し、ハブシールの抜け出しが発生、ハブオイルが漏れてローター部にオイルが付着し白煙が発生しました。

オイルシール、パッキンなどはゴム製品であり、これらは経年劣化を生じる部品であります。その為、取扱説明書上にも定期交換やオーバーホールを推奨しています。

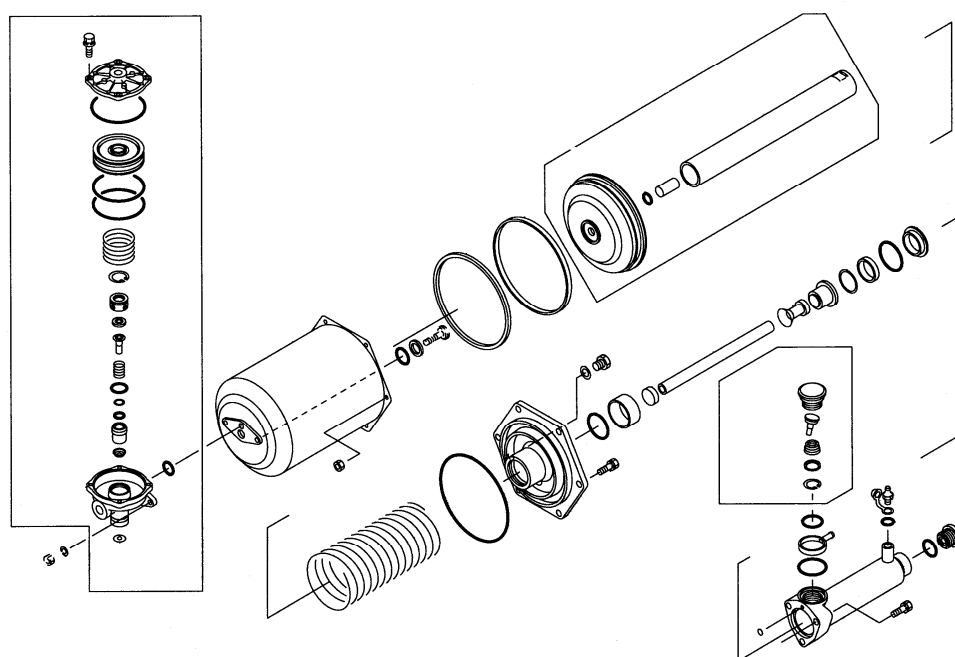
車輛のブレーキ回路に使用していますブレーキペダル、ブレーキブースタ、タイヤホイール部のブレーキキャリパー、又ブレーキ関係のホースの交換及び各部品のオーバーホール等適切なメンテナンスを行い、予防整備を行うことで事故の防止が可能となります。

製品を安心して長期に使用していただくための重要な措置であることをご理解頂きたいお願い申し上げます。

尚、ラフテレーンクレーン車輛は、事業用自動車等の扱いとなり法令による定期点検・整備が義務付けられていますので、法令点検の励行も合わせてお願いします。

参考までにラフテレーンクレーンのブレーキシステムにありますブレーキブースタの分解図を下記に記載します。又、別紙に当社ラフテレーンクレーン ブレーキシステム概要を記載します。

699-4740000 BOOSTER-BRAKE



# 1. 概要 (0694-0002-0J)

ブレーキブースタは、エアオーバーハイドロリック (空気油圧複合) 式のブレーキシステムに使用し、エア圧を液圧に変換する働きをします。

本ブレーキブースタは、ブレーキバルブから送られてくる信号エア圧によって、本体後部に設けられたリレーバルブが作動し、エアタンクからのエアを用いてブレーキバルブのペダル操作に応じた液圧をホイールブレーキのシリンダーに伝えます。(“3. 構造および作動” を参照してください。)

このように、ブレーキブースタはエアオーバーハイドロリック式のブレーキシステムの心臓部的な役割を果たしておりますので、その取り扱いには本書にしたがって正しく行ってください。

エアオーバーハイドロリック式ブレーキシステム概要図

